



滋賀県立大学  
平成30（2018）年度  
講義概要（シラバス）

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

# 目 次

1850010	家族看護学特論	古株 ひろみ	後期集中	・ ・ ・	1
1850018	看護英語論文入門	安原 治	前期	・ ・ ・	3
1850019	看護英語論文入門	安原 治	後期	・ ・ ・	5
1850020	看護管理論(大学院)	窪田 好恵	後期	・ ・ ・	7
1850030	看護教育論	伊丹 君和	後期集中	・ ・ ・	9
1850050	看護研究方法論	甘佐 京子	前期	・ ・ ・	11
1850060	看護研究方法論	糸島 陽子	後期	・ ・ ・	13
1850070	看護政策論	小林 孝子	前期	・ ・ ・	15
1850080	看護理論(大学院)	窪田 好恵	前期集中	・ ・ ・	17
1850090	看護倫理	糸島 陽子	前期	・ ・ ・	19
1850110	コンサルテーション論	甘佐 京子	前期	・ ・ ・	21
1850140	薬物治療学	土田 勝晴	前期集中	・ ・ ・	23
1851010	看護技術学演習	伊丹 君和	後期	・ ・ ・	25
1851020	看護技術学特論	伊丹 君和	前期	・ ・ ・	27
1851050	基盤看護学特別研究(1年次)	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	29
1851055	基盤看護学特別研究(2年次)	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	31
1851060	形態機能・生体機構学演習	安原 治	後期	・ ・ ・	33
1851070	形態機能・生体機構学特論	安原 治	後期	・ ・ ・	35
1851090	精神看護援助方法論	甘佐 京子	後期	・ ・ ・	37
1851100	精神看護関連技法演習	甘佐 京子	後期	・ ・ ・	39
1852010	生涯健康看護学特別研究(1年次)	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	41
1852015	生涯健康看護学特別研究(2年次)	専攻教員	通年研究	・ ・ ・	43
1852020	小児家族看護学演習	古株 ひろみ	後期	・ ・ ・	45
1852030	小児家族看護学特論	古株 ひろみ	前期	・ ・ ・	47
1852040	成人継続看護学演習	糸島 陽子	後期	・ ・ ・	49
1852050	成人継続看護学特論	糸島 陽子	後期	・ ・ ・	51
1852080	母性看護学演習	越山 雅文	後期	・ ・ ・	53
1852090	母性看護学特論	越山 雅文	後期	・ ・ ・	55
1852120	老年健康生活特論/	平田 弘美	前期	・ ・ ・	57
1852125	老年看護学特論	平田 弘美	前期	・ ・ ・	59
1852135	老年看護学演習	平田 弘美	後期	・ ・ ・	61
1853010	慢性看護学課題研究(1年次)	横井 和美	通年研究	・ ・ ・	63
1853015	慢性看護学課題研究(2年次)	横井 和美	通年研究	・ ・ ・	65
1853020	慢性看護学実習	横井 和美	後期実習	・ ・ ・	67
1853030	慢性看護学実習	横井 和美	前期実習	・ ・ ・	69
1853040	慢性看護学特論A	横井 和美	前期	・ ・ ・	71
1853050	慢性看護学特論B	横井 和美	後期	・ ・ ・	73
1853060	慢性看護支援論A	横井 和美	前期	・ ・ ・	75
1853070	慢性看護支援論B	横井 和美	後期	・ ・ ・	77
1853080	慢性看護支援論C	横井 和美	後期	・ ・ ・	79
1853100	慢性看護支援論演習	横井 和美	通年	・ ・ ・	81
1853110	組織行動マネジメント論特論/	窪田 好恵	前期	・ ・ ・	83
1853120	組織行動マネジメント論演習/	窪田 好恵	後期	・ ・ ・	85
1853130	公衆衛生看護学特論	小林 孝子	前期	・ ・ ・	87
1853140	公衆衛生看護学演習	小林 孝子	後期	・ ・ ・	89
1853180	人的資源活用論特論	窪田 好恵	前期	・ ・ ・	91
1853190	人的資源活用論演習	窪田 好恵	後期	・ ・ ・	93
1853200	在宅看護学特論	河野 益美	前期	・ ・ ・	95
1853210	在宅看護学演習	河野 益美	後期	・ ・ ・	97

講義名	家族看護学特論							担当教員	古株 ひろみ / 甘佐 京子
講義コード	1850010	単位数	2	開講期	後期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT505								

#### 授業概要

看護活動に共通する家族の今日的課題を中心に家族の機能の変遷を探究し、家族システム理論などの諸理論及び家族看護の役割と機能について教授する

#### 到達目標

- (1) 家族看護に関する理論が理解できる
- (2) 理論をもちいて、看護実践に応じた家族看護の展開方法について説明することができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	70	到達目標(1)について70%をレポートにて評価する
上記以外	30	到達目標(2)については、プレゼンテーションで評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	家族看護学	鈴木和子	日本看護協会出版会	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	家族看護アセスメントPart	小林奈美	医歯薬出版	
2	家族看護アセスメントPart	小林奈美	医歯薬出版	
3	家族ケア	岡本眞知子・萱間眞美	中法規出版	

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護英語論文入門						担当教員	安原 治	
講義コード	1850018	単位数	2	開講期	前期	授業種別			講義
ナンバリング番号	581MNT512								

#### 授業概要

研究とは、過去の知見の上に新しい知見を積み上げて行く行為である。したがって、論文購読は研究活動の中で大きな比重を占めている。とくに看護学を含む生命科学は、世界共通の学問であるため、英語論文の購読は看護学研究にとって必要不可欠な作業である。本講義では、各学生が今読まなければならない、あるいは今読みたいと思っている看護英語論文をもちよって、相互に読み進めていく。英語論文に慣れ、独力で英語論文が読めるようになることを目標にする。

#### 到達目標

- (1) 英語論文に慣れ、独力で英語論文が読める。
- (2) 英語論文を読み、その方法論や論理について批判的な論評を加えることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席、および毎回の論文抄読を評価する

#### 授業外学習

(宿題) 分担で担当部分を和訳する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護英語論文入門							担当教員	安原 治
講義コード	1850019	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT513								

#### 授業概要

看護英語論文Iに引き続き、英語論文の抄読を進める。英語論文を批判的に読む練習は、研究力をつけるための恰好のトレーニングである。本講義では、看護英語論文Iの内容をさらに深めて、英語論文を批判的に読む練習にまで進めていきたい。各自が看護英語論文をもちよって、相互に読み進める。

#### 到達目標

- (1) 英語論文に慣れ、独力で英語論文が読める。
- (2) 英語論文を読み、その方法論や論理について批判的な論評を加えることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席、および毎回の論文抄読を評価する

#### 授業外学習

(宿題) 分担で担当部分を和訳する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	看護英語論文入門						担当教員	安原 治	
講義コード	1850019	単位数	2	開講期	後期	授業種別			講義
ナンバリング番号	581MNT513								

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	論文批評の方法
第2回	英語論文抄読（ 1 ）	
第3回	英語論文抄読（ 2 ）	
第4回	英語論文抄読（ 3 ）	
第5回	英語論文抄読（ 4 ）	
第6回	英語論文抄読（ 5 ）	
第7回	英語論文抄読（ 6 ）	
第8回	英語論文抄読（ 7 ）	
第9回	英語論文抄読（ 8 ）	
第10回	英語論文抄読（ 9 ）	
第11回	英語論文抄読（ 1 0 ）	
第12回	英語論文抄読（ 1 1 ）	
第13回	英語論文抄読（ 1 2 ）	
第14回	英語論文抄読（ 1 3 ）	
第15回	まとめ	

担当者から一言



講義名	看護管理論(大学院)							担当教員	窪田 好恵 / 米田 照美
講義コード	1850020	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT510								

#### 授業概要

看護専門職として高度なマネジメント能力を修得することを目的として、看護組織論、看護制度・政策論、看護経営と業務管理、人的資源活用論、看護情報管理について概説する。また、看護組織内での課題を明確にし、看護管理の理論枠組みを活用して考究する。

#### 到達目標

現代の保健医療福祉サービスを取り巻く現状と看護管理の役割を関係づける。  
 看護組織と変革方法について説明できる。  
 看護部組織の分析ができ、そのなかで自己の課題を明確にして説明できる。  
 キャリア開発の意義と方法について説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	レポート課題を課す
上記以外	50%	プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護管理概説 第1巻	井部俊子 中西睦子監修	日本看護協会出版会	
2	看護組織論 第2巻	井部俊子 中西睦子監修	日本看護協会出版会	
3	看護マネジメント論 第3巻	井部俊子 中西睦子監修	日本看護協会出版会	

看護管理テキスト第2版 看護における人的資源活用論 第4巻

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	看護管理論（大学院）							担当教員	窪田 好恵 / 米田 照美
講義コード	1850020	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT510								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業ガイダンス 看護管理における自己の課題
第2回	医療安全	日本の医療機関における医療事故・ヒヤリハットの現状
第3回	医療安全	医療安全にかかわる看護師の観察眼の特徴
第4回	医療安全	看護基礎教育における医療安全教育
第5回	医療安全	課題
第6回	医療安全	プレゼンテーション
第7回	看護サービス管理	現代の保健医療福祉サービスを取り巻く現状と看護管理の役割 看護管理サービスとは
第8回	看護マネジメント	看護組織論 組織とマネジメント
第9回	看護管理のスキル	課題学習
第10回	看護管理のスキル	プレゼンテーション
第11回	キャリア開発	キャリア開発の意義と方法
第12回	組織と人材育成	人間関係を構築する技術 組織の効率性を高める技術
第13回	組織と人材育成	課題：組織と人材育成にかかわる自己の課題と対策
第14回	組織と人材育成	課題：組織と人材育成にかかわる自己の課題と対策
第15回	まとめ	プレゼンテーション 自己管理と看護サービス管理の周辺

担当者から一言

講義名	看護教育論							担当教員	伊丹 君和 / 米田 照美
講義コード	1850030	単位数	2	開講期	後期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT507								

#### 授業概要

看護学教育の変遷、現状と課題について、教育制度、教育課程、教育組織運営から概観するとともに、看護学の授業展開を支える理論と知識をもとに授業展開の実際について探求する。また、看護継続教育における理論と技法についても考究する。

#### 到達目標

- (1) 看護学教育の現状と課題、展望について、説明できる。
- (2) 看護学の授業展開を支える理論と知識をもとに、授業設計と展開の評価ができる。
- (3) 看護継続教育における理論と技法をもとに、「看護者が専門職として成長し続けるために有効な教育的働きかけ」について考察できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	・看護学の授業展開を支える理論と知識をもとにした授業設計についての展開と評価が適切にできる(課題:30/100%)。 ・授業で学んだ看護継続教育における理論と技法をもとに、「看護者が専門職として成長し続けるために有効な教育的
上記以外	20	・看護学教育の現状と課題、展望について、適切に説明できる。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

集中講義となるため、授業内容に関連することについて調べ、自分の考えを説明できるようにしておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護教育学 第6版	杉森みど里、舟島なをみ	医学書院	
2	看護学教育における授業展開	舟島なをみ	医学書院	
3	看護現場で使える教育学の理論と技法	中井俊樹	MCメディカ出版	

必要時、資料を提示する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護研究方法論							担当教員	甘佐 京子 / 浅野 弘明 / 古株 ひろみ
講義コード	1850050	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT502								

#### 授業概要

実践研究に必要な看護学の科学的アプローチの方法を理解し、量的研究および質的研究のプロセスを概観する

#### 到達目標

自己の研究目的や方法をより洗練するための効果的な論文クリティークができる。  
 自分の関心領域の看護現象の概念・キーワードを明確にできる。  
 探究する現象へのアプローチする方法を選択できる。  
 アプローチ方法（質的・量的研究方法）の基本を理解できる。  
 研究倫理について基本的な原則を理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	討論参加度

出席状況、期限外のレポート提出などで評価の対象としない場合がある

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実習で学ぶSPSSと統計学の基礎	浅野弘明	ブレイクス出版	
2	看護研究入門 実践・評価・活用	バーンズ&グロブ	エルゼビア出版	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	看護研究方法論							担当教員	甘佐 京子 / 浅野 弘明 / 古株 ひろみ
講義コード	1850050	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT502								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	看護研究の定義・重要性	看護研究の定義・重要性 研究倫理について
第2回	研究の問い・研究テーマの絞り込み、研究のキーワード	自己の「研究の問い」を基に、県キューテーマを絞り込んでいく
第3回	研究のプロセス：概念枠組み・研究目的 研究デザインの選択	研究のプロセスについて学ぶ 概念枠組み・研究目的 研究デザイン
第4回	研究計画書の作成	研究論文の構成要素(研究倫理含む)
第5回	質的研究デザイン 質的研究とは	質的研究の研究としての特徴やどのような研究疑問の解決に適しているのかについて学ぶ
第6回	質的研究デザイン 質的研究の種類と概要	質的研究の種類について理解を深め、様々な現象の解明に適切な質的研究方法が選べる知識を学ぶ。
第7回	質的研究デザイン 質的研究方法 グランデッドセオリーアプローチ	グランデッドセオリー法及び修正版グランデッドセオリー法について具体的データの分析を交えて学ぶ
第8回	量的研究デザイン	量的研究デザインとは
第9回	量的研究デザイン	相関的研究デザイン
第10回	文献レビュー 質的研究文献のクリティーク	各自の研究テーマに関連する質的研究の文献について、クリティークを行いディスカッションを通して理解を深める
第11回	文献レビュー 量的研究文献のクリティーク	各自の研究テーマに関連する量的研究の文献について、クリティークを行いディスカッションを通して理解を深める
第12回	統計処理の基礎	統計ソフトSPSSを用いたの実習
第13回	基本的な仮説検定法	統計ソフトSPSSを用いたの実習
第14回	仮説検定の意義とその影響	統計ソフトSPSSを用いたの実習
第15回	グループ別集計	統計ソフトSPSSを用いたの実習
担当者から一言		

講義名	看護研究方法論							担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美
講義コード	1850060	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT503								

#### 授業概要

専門看護師が看護研究を進める際に必要な基礎的知識を学習する。様々な臨床データの収集方法、分析方法、論文作成、プレゼンテーション方法を学習する。

#### 到達目標

- (1) 研究に必要な基礎的知識が理解できる。
- (2) 研究疑問を解決するための研究計画書を作成することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標(1) 25% 到達目標(2) 25%
上記以外	50%	到達目標(1) 25% 到達目標(2) 25%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	看護政策論							担当教員	小林 孝子
講義コード	1850070	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT506								

#### 授業概要

国・都道府県・市町村における社会・医療のニーズに対する看護政策の在り方とその政策過程を理解する。また看護政策が策定される過程を検討し、住民の健康課題の解決に寄与できる看護政策立案に向けて政策策定能力の基礎的能力を養う。

#### 到達目標

- (1) 政策とは何かを理解する。
- (2) 政策の策定過程を理解する。
- (3) 看護職の抱える課題を理解し、現行の看護政策と関連づけることができる。
- (4) 課題解決のための行動方針・計画を考えることができる。
- (5) 課題解決のための看護政策が立案できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(1)(4)(5) レポート(50%)
上記以外	50	(2)(3) ディスカッション(30%)、プレゼンテーション(20%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜資料を配布する

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護職者のための政策過程入門	見藤隆子他	日本看護協会出版会	
2	看護管理学学習テキスト7 看護制度・政策論	井部俊子・中西睦子	日本看護協会出版会	
3	日本看護協会の政策提言活動	日本看護協会編	日本看護協会出版会	

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	看護政策論							担当教員	小林 孝子
講義コード	1850070	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT506								

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	政策とは 政策立案に必要な条件	プレゼンテーションとディスカッション
第2回	看護政策の歴史	プレゼンテーションとディスカッション
第3回	保健医療福祉制度と看護制度の現状	プレゼンテーションとディスカッション
第4回	看護職が関係する法律	プレゼンテーションとディスカッション
第5回	看護職が関係する看護制度	プレゼンテーションとディスカッション
第6回	保健師助産師看護師法の課題	プレゼンテーションとディスカッション
第7回	看護教育制度の現状と課題	プレゼンテーションとディスカッション
第8回	健康問題を持つ人にとっての制度上の課題	プレゼンテーションとディスカッション
第9回	健康問題を持つ人にとっての政策上の課題	プレゼンテーションとディスカッション
第10回	看護関係政策の成立プロセス	プレゼンテーションとディスカッション
第11回	あなた方が必要と考える看護政策	プレゼンテーションとディスカッション
第12回	あなた方が必要と考える看護政策	プレゼンテーションとディスカッション
第13回	あなた方が必要と考える看護政策	プレゼンテーションとディスカッション
第14回	あなた方が必要と考える看護政策	プレゼンテーションとディスカッション
第15回	看護政策のまとめ	プレゼンテーションとディスカッション

担当者から一言

講義名	看護理論（大学院）							担当教員	窪田 好恵
講義コード	1850080	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT501								

#### 授業概要

看護学の歴史と哲学、論理的思考、理論開発等を探求し、看護現象を把握するための能力を高める。看護理論の発展過程を踏まえながら看護理論の現状について概説し、理論と実践への適用・課題について教授する。また、看護の焦点となる現象と理論を構成する概念との関係について解説し、看護理論を看護実践の機能の中へ組み入れる方法について教授する。

#### 到達目標

- (1) 看護学の発展と看護理論の関係、理論の生成とその意味を説明できる。
- (2) 課題について、論点を明確にした発表内容を効果的な方法でプレゼンテーションできる。
- (3) ディスカッションに積極的に参加し、課題に対する自己の考えをわかりやすく述べる。
- (4) 看護理論を実践に援用して説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標(1)(4)についてレポート課題を課す。
上記以外	40%	到達目標(2)(3)について、ディスカッションへの参加状況、プレゼンテーションで評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護理論家の業績と理論評価	Ann Marriner Tomey, 筒井真優美編	医学書院	
2	看護科学のパラダイム転換	野島良子	へるす出版	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護学における理論思考の本質	Hesook Suzie Kim: 上鶴重美監訳	日本看護協会出版会	
2	看護理論の分析と評価	フォーセット: 太田喜久子他監訳	廣川書店	
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護倫理							担当教員	糸島 陽子
講義コード	1850090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT509								

#### 授業概要

現代社会における倫理的課題について概観し、人の生と死、個人の尊厳と権利、安全で安寧や生活、健康をめぐる様々な倫理的課題とその解決の方略を検討する。その中で、看護専門職の役割・責任について、看護倫理学の視点から探求する。

#### 到達目標

- (1) 臨床・教育・研究における倫理的課題と解決のための方略を理解できる。  
(2) 倫理的看護実践について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標(1) 25% 到達目標(2) 25%
上記以外	50%	到達目標(1) 25% 到達目標(2) 25%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護実践の倫理 第3版	サラ T. フライ	日本看護協会出版会	978-4-8180-1512-8
2				
3				

看護者の倫理綱領(2003年 日本看護協会)

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	看護倫理							担当教員	糸島 陽子
講義コード	1850090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT509								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	現代社会と倫理	生命倫理・医療倫理の歴史的背景を紹介し、受講生の経験をふまえ現代社会における倫理的課題を探求する。
第2回	看護倫理の基礎	倫理原則、倫理綱領、インフォームド・コンセントなどを紹介し、看護実践における倫理的課題を探求する。
第3回	看護倫理の基礎	アドボカシー、責務と責任、協力、ケアリングなどの看護実践上の倫理的概念を知り、看護専門職のあり方、役割、責任について探求する。
第4回	看護倫理の基礎	看護倫理綱領をもとに、看護専門職の役割、責任について探求する。
第5回	看護倫理の基礎	看護情報のもつ意味、守秘義務について知り、看護職の倫理的責任と法的責任を探求する。
第6回	生殖補助医療と倫理	生殖補助医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探求する。
第7回	小児医療と倫理	小児医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探求する。
第8回	高齢者医療と倫理	高齢者医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探求する。
第9回	終末期医療と倫理	終末期医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探求する。
第10回	移植・再生医療と倫理	移植・再生医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探求する。
第11回	精神科領域の医療と倫理	精神科領域における医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探求する。
第12回	公衆衛生と倫理	公衆衛生における倫理をもとに、看護専門職の役割と責任を探求する。
第13回	災害状況と倫理	災害状況におけるトリアージをもとに、看護専門職の役割と責任を探求する。
第14回	研究倫理	看護と研究について概観し、看護研究における看護専門職の役割と責任を探求する。
第15回	事例検討	倫理カンファレンスを実施して、事例検討を行う。
担当者から一言		

講義名	コンサルテーション論							担当教員	甘佐 京子 / 吉田 智美
講義コード	1850110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT508								

#### 授業概要

コンサルテーションの定義、目的、タイプ、プロセス、評価方、法及び有用な相談プロセスが共有展開できるための方法論等を論じ、医療の専門職や医療従事者が直面する課題や困難・問題に対処するための基礎能力を養う。

#### 到達目標

1. コンサルテーションの定義、目的・プロセスについて理解できる 2. 医療の対象者及び医療従事者に対するコンサルテーションの基本的な実践能力を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	最終レポート 「看護専門職にとってのコンサルテーションとは」
上記以外	40	講義でのプレゼンテーションおよびディスカッションの参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	プロセス・コンサルテーション	E. H. シャイン	白桃書房	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	薬物治療学							担当教員	土田 勝晴 / 竹内 孝治
講義コード	1850140	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT511								

#### 授業概要

薬物療法に関する情報は増加の一途にあり、新しい薬理作用を持つ薬物が実地臨床に次々と登場している。種々の疾患に対して安全性と有効性に関する科学的根拠に基づいた薬剤選択を行うためには、多様な薬物に関する情報を的確に整理し活用することが重要であるとともに薬理作用や副作用発現のメカニズムを熟知することが必要である。本講義では特に、消化器系および心血管系を中心にこれら臓器の生理機能ならびに主要な疾患と薬物療法について学習する。

#### 到達目標

各種疾患の病態生理を理解し、これら疾患に対して臨床で汎用されている薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用に関する基本的な知識を習得することとする。(レポートと試験で確認)

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	正答率
レポート課題	30%	理解度と論理性
上記以外	40%	講義態度

#### 授業外学習

各回の講義終了ごとに、配布資料やプリント等を読むことにより講義要点を復習すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	わかりやすい薬理学(土田担当講義)	安原、小口	ヌーベルヒロカワ	978-4-86174-054-1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	治療薬イラストレイテッド	山田信博	羊土社	
2				
3				

授業中に講義内容に関連する資料およびプリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護技術学演習							担当教員	伊丹 君和
講義コード	1851010	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT515								

#### 授業概要

看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法を探究する。また、看護技術学に関連する国内外の関連文献ならびに関連領域の研究をクリティックする力を養い、自己の研究課題の焦点化と研究デザインの基礎を培う。

#### 到達目標

- (1) 看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法を探究する
- (2) 看護技術学に関連する国内外の関連文献ならびに関連領域の研究についてクリティックできる
- (3) 自己の研究課題の焦点化と研究デザインについて考究する

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護技術のエビデンス・介入方法の検証 30%</li> <li>・看護技術に関する研究のクリティック 35%</li> <li>・自己の研究課題の焦点化と研究デザインの考究 35%</li> </ul>
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護技術の科学と検証	川島みどり、菱沼典子	日本看護協会出版会	
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護技術学特論							担当教員	伊丹 君和
講義コード	1851020	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT514								

#### 授業概要

専門性の高い科学としての看護を实践するための基盤となる看護技術について、科学と技術の概念、その発達史の概略を理解し、看護技術の位置、その意味と目的を考察する。また、看護技術に携わる者としての社会的役割、責任など倫理的課題について認識を深める。人を対象とする技術の特性、看護技術の基本的な方法論を理解し、エビデンスの検証、現在の研究知見と看護実践および教育への適応について考究する。

#### 到達目標

- (1) 科学と技術の概念と変遷を理解した上で、看護における技術の意味と目的について考察する
- (2) 科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
- (3) 看護技術学とは何か、および看護技術に影響する諸因子について考察する

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	・課題レポート70% (先行文献のクリティーク35%、「看護技術を考える」レポート35%)
上記以外	30%	・ディスカッション30%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護技術論	メジカルフレンド社編集部編	メジカルフレンド社	
2	看護技術の現在	川島みどり	勁草書房	
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	看護技術学特論						担当教員	伊丹 君和	
講義コード	1851020	単位数	2	開講期	前期	授業種別			講義
ナンバリング番号	581MNT514								

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	科学と技術の概念と変遷	科学と技術の概念と変遷について理解する
第2回	看護における技術の意味と目的	看護における技術の意味と目的について考える
第3回	看護技術学の探求(1)	看護技術に関する文献をもとに看護技術学について考える
第4回	看護技術学の探求(2)	看護技術に関する文献をもとに看護技術学について考える
第5回	看護技術学の探求(3)	看護技術に関する文献をもとに看護技術学について考える
第6回	看護技術の安全性・安楽性と倫理的課題	看護技術の安全性・安楽性と倫理的課題について考える
第7回	看護技術のエビデンスの検証(1)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第8回	看護技術のエビデンスの検証(2)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第9回	看護技術のエビデンスの検証(3)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第10回	看護技術のエビデンスの検証(4)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第11回	看護技術のエビデンスの検証(5)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第12回	看護技術のエビデンスの検証(6)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第13回	看護技術研究の現状と今後	看護技術研究の現状と今後について考える
第14回	看護技術研究の現状と今後	看護技術研究の現状と今後について考える
第15回	今、看護に求められているもの	今、看護に求められるものについて考える

担当者から一言

講義名	基盤看護学特別研究(1年次)							担当教員	専攻教員/甘佐京子/荒川千登世/ 伊丹君和/板谷裕美/糸島陽子/ 窪田好恵/河野益美/古株ひろみ/ 小林孝子/平田弘美/古川洋子/ 牧野耕次/未定*/安原治/ 横井和美/米田照美
講義コード	1851050	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	681MNT601								

#### 授業概要

基盤看護学分野では、当該領域の専門的な知識と研究方法・技術等を適用し、実証的・開発的な研究を指導する。

#### 到達目標

看護学の新規な知見を含み、かつその内容が看護学の発展に貢献できる学術的な論文を作成する  
看護学に関する広い視野と学識を有し、これらに基づいて看護を実践的・開発的に展開していく能力を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文、修士論文審査会、最終試験の結果を総合して審査する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「修士論文作成の手引」きを年度初めに配布します。研究の進め方、論文の作成のルール等については、手引きを参照してください。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	基盤看護学特別研究(2年次)							担当教員	専攻教員/甘佐京子/荒川千登世/ 伊丹君和/板谷裕美/糸島陽子/ 窪田好恵/河野益美/古株ひろみ/ 小林孝子/平田弘美/古川洋子/ 牧野耕次/未定*/安原治/ 横井和美/米田照美
講義コード	1851055	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	681MNT601								

#### 授業概要

基盤看護学分野では、当該領域の専門的な知識と研究方法・技術等を適用し、実証的・開発的な研究を指導する。

#### 到達目標

看護学の新規な知見を含み、かつその内容が看護学の発展に貢献できる学術的な論文を作成する  
看護学に関する広い視野と学識を有し、これらに基づいて看護を実践的・開発的に展開していく能力を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文、修士論文審査会、最終試験の結果を総合して審査する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「修士論文作成の手引」きを年度初めに配布します。研究の進め方、論文の作成のルール等については、手引きを参照してください。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	形態機能・生体機構学演習						担当教員	安原 治	
講義コード	1851060	単位数	2	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	581MNT519								

#### 授業概要

心電図、胸部X線画像、脳画像、聴診所見など、特論で学んだ内容をもとに、症例について検討する。

#### 到達目標

- 1) 心電図の正常波形と基本的な異常について説明できる。
- 2) 画像検査の正常像と基本的な異常像が理解できる。
- 2) 神経診察と聴診などの基本的な診察法を理解している。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席と討論内容を評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	形態機能・生体機構学特論							担当教員	安原 治
講義コード	1851070	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT518								

#### 授業概要

病気の診察法や生理検査、画像検査に触れるとともに、代表的な疾患の病態生理と看護法について学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 心電図の基本が理解できる
- (2) 画像検査の正常像と代表的な異常像が理解できる
- (3) 聴診や神経診察法など、基本的な診察法を説明出来る

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席と討論内容を評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	形態機能・生体機構学特論							担当教員	安原 治
講義コード	1851070	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT518								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	心電図（１）	心電図の正常波形と異常波形
第3回	心電図（２）	心電図の正常波形と異常波形
第4回	心電図（３）	心電図の正常波形と異常波形
第5回	心電図（４）	心電図の正常波形と異常波形
第6回	胸部X線（１）	胸部X線の読み方
第7回	胸部X線（２）	胸部X線の読み方
第8回	胸腹部CT	胸部CTと腹部CT
第9回	聴診（１）	心音
第10回	聴診（２）	呼吸音
第11回	脳画像（１）	頭部CT
第12回	脳画像（２）	頭部MRI
第13回	神経診察法	神経疾患の診察の仕方
第14回	自律神経検査法	心電図RR間隔など
第15回	まとめ	

担当者から一言

講義名	精神看護援助方法論							担当教員	甘佐 京子 / 牧野 耕次
講義コード	1851090	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT520								

#### 授業概要

看護介入の基本を提供するため、精神病理のアセスメントと診断のためのパラダイム(理論的枠組み)強調し、「異常」といわれる基本的な特質について学習する。病因学・症候学・病気の経過や見通しに関する研究成果を概念づけるために、相互作用的研究パラダイムについても学習する。

#### 到達目標

1. 精神病理とそのアセスメントと診断に関する理論を比較・対照できる。
2. 研究から得られた、精神疾患の病因学・症候学・病気の経過や見通しに関する知識を習得する。
3. 精神病理とそのアセスメントと診断を看護の視点から批判的に評価判定することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	課題1および2についてディスカッションを経て、新たな意見とを取り入れ加筆修正したものをレポートとして提出。 課題1については以下のことが網羅されていること。参考文献は複数用いること。 1. 特徴
上記以外	40	プレゼンの資料(メンバーにわかりやすく論理的にまとめられているか) ディスカッションの参加状況(問題に対して積極的に意見交換ができていますか)

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特に指定しない

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	精神看護援助方法論							担当教員	甘佐 京子 / 牧野 耕次
講義コード	1851090	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT520								

授業計画									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル				概要				
第1回	課題	DSM -	の分類を基にした、	第1~7回	課題	に対するプレゼンテーションおよびディスカッション	課題1		
第2回	分類・病因・アセスメント・経過	DSM -	の分類を基にした、	課題1	DSM -	の分類を基にした、分類・病因・アセスメント・経過および予後	等提起とプレゼンター		
第3回	分類・病因・アセスメント・経過	DSM -	の分類を基にした、	課題1	DSM -	の分類を基にした、分類・病因・アセスメント・経過および予後	等提起とプレゼンター		
第4回	分類・病因・アセスメント・経過	DSM -	の分類を基にした、	課題1	DSM -	の分類を基にした、分類・病因・アセスメント・経過および予後	等提起とプレゼンター		
第5回	分類・病因・アセスメント・経過	DSM -	の分類を基にした、	課題1	DSM -	の分類を基にした、分類・病因・アセスメント・経過および予後	等提起とプレゼンター		
第6回	分類・病因・アセスメント・経過	DSM -	の分類を基にした、	課題1	DSM -	の分類を基にした、分類・病因・アセスメント・経過および予後	等提起とプレゼンター		
第7回	分類・病因・アセスメント・経過	DSM -	の分類を基にした、	課題1	Q1.DSM -	の分類を基にした、分類・病因・アセスメント・経過および予後	等提起とプレゼンター		
第8回	課題	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題提起とプレゼン		第8~13回	課題	に対するプレゼンテーションおよびディスカッション	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題		
第9回	課題	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題提起とプレゼン		第8~13回	課題	に対するプレゼンテーションおよびディスカッション	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題		
第10回	課題	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題提起とプレゼン		第8~13回	課題	に対するプレゼンテーションおよびディスカッション	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題		
第11回	課題	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題提起とプレゼン		第8~13回	課題	に対するプレゼンテーションおよびディスカッション	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題		
第12回	課題	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題提起とプレゼン		第8~13回	課題	に対するプレゼンテーションおよびディスカッション	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題		
第13回	課題	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題提起とプレゼン		第8~13回	課題	に対するプレゼンテーションおよびディスカッション	Q1疾患・症状などを選びそれに関する問題		
第14回	学会参加およびプレゼンテーション				関連学会に参加し、自己のテーマに関する最新の知見を収集し、プレゼンテーションをする				
第15回	学会参加およびプレゼンテーション				関連学会に参加し、自己のテーマに関する最新の知見を収集し、プレゼンテーションをする				
担当者から一言									



講義名	精神看護関連技法演習							担当教員	甘佐 京子 / 牧野 耕次
講義コード	1851100	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT521								

#### 授業概要

精神の医療・看護に関与する専門職者として、精神看護に関連した技法について学び、看護師としてその技法を用いるための方法論を修得することを目的とする。

#### 到達目標

精神看護の関連技法の理論的背景を理解し、その知識や技法を看護実践に応用していく方策について自己の考えを述べることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	関連技法を活用しか看護介入のあり方について、事例を用いて論じることができる。必ず理論的枠組みを説明すること。
上記以外	40	担当する部分で、理論や技法以外に用いられている用語の中で、自分が気になった用語についても、その意味を調べてプレゼンする。 テキストのまとめではなく、別の文献をもちいて、よりが学術的な観点でプレゼンしてください。参考図書・文献に

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初講時に、履修者の希望を聞き、内容を少し変更する場合があります。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護と関連技法	坂田三充編集	中山書店	
2				
3				

#### 前提学力等

参考図書等で精神看護の関連技法にどのようなものがあるか事前に学習して置いてください。

#### 履修資格



講義名	生涯健康看護学特別研究(1年次)							担当教員	専攻教員 / 甘佐京子 / 荒川千登世 / 伊丹君和 / 板谷裕美 / 糸島陽子 / 窪田好恵 / 河野益美 / 古株ひろみ / 小林孝子 / 平田弘美 / 古川洋子 / 牧野耕次 / 未定* / 安原治 / 横井和美 / 米田照美
講義コード	1852010	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	681MNT602								

#### 授業概要

生涯健康看護学分野では、対象となる人々とその家族の健康増進および継続的な療養生活を支援・評価するための研究を指導する。

#### 到達目標

看護学の新規な知見を含み、かつその内容が看護学の発展に貢献できる学術的な論文を作成する  
看護学に関する広い視野と学識を有し、これらに基づいて看護を実践的・開発的に展開していく能力を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文、修士論文審査会、最終試験の結果を総合して審査する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	生涯健康看護学特別研究(2年次)							担当教員	専攻教員 / 甘佐京子 / 荒川千登世 / 伊丹君和 / 板谷裕美 / 糸島陽子 / 窪田好恵 / 河野益美 / 古株ひろみ / 小林孝子 / 平田弘美 / 古川洋子 / 牧野耕次 / 未定* / 安原治 / 横井和美 / 米田照美
講義コード	1852015	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	681MNT602								

#### 授業概要

生涯健康看護学分野では、対象となる人々とその家族の健康増進および継続的な療養生活を支援・評価するための研究を指導する。

#### 到達目標

看護学の新たな知見を含み、かつその内容が看護学の発展に貢献できる学術的な論文を作成する  
看護学に関する広い視野と学識を有し、これらに基づいて看護を実践的・開発的に展開していく能力を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文、修士論文審査会、最終試験の結果を総合して審査する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	小児家族看護学演習							担当教員	古株 ひろみ
講義コード	1852020	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT529								

#### 授業概要

障害や疾患がある子どもとその家族の状態について、倫理的配慮を含めて包括的に査定・援助する方法を議論させる。また、子どもとその家族の実態についてフィールドワークなどにより理解を深め、その問題点と援助方法を探究し、自己の研究課題・研究方法を明確化させる。

#### 到達目標

- (1) 文献検討や資料からさまざまな健康状態の子どもとその家族における課題について説明できる  
(2) 課題解決に向けた子どもの権利を尊重し、小児の発達を踏まえた看護援助方法を考究できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	到達目標(2)はレポートにて評価する
上記以外	30	到達目標(1)はプレゼンテーションで評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	小児家族看護学特論							担当教員	古株 ひろみ
講義コード	1852030	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT528								

#### 授業概要

代表的な発達理論について解説し、障害や疾患がある子どもとその家族の健康生活・QOL、子どもの成長発達と生活環境、家族の構成・機能・発達・コーピング、ソーシャルサポートの観点から分析・アプローチする方法を説明できるよう教授する

#### 到達目標

- (1) 子どもとその家族の理解を深めるため発達理論、家族看護学理論などの理論を理解できる。  
(2) 子どもとその家族へのケアに関連する文献から、子どもの成長発達、家族機能を強めるアプローチ方法が探究できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	到達目標(2)についてレポートにて評価する
上記以外	50	到達目標(1)についてはプレゼンテーションについて評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	小児家族看護学特論							担当教員	古株 ひろみ
講義コード	1852030	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT528								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	発達理論について	プレゼンテーションの対象となる理論および、プレゼンテーション方法について理解する
第2回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第3回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第4回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第5回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第6回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第7回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第8回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第9回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第10回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第11回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第12回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第13回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第14回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第15回	レポート作成	課題レポートの作成
担当者から一言		

講義名	成人継続看護学演習							担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美
講義コード	1852040	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT531								

#### 授業概要

継続的な健康障害を有する成人期にある人々の心身・生活上の諸問題について、アセスメントするための理論とEBNに基づいた看護技術について探求する。また、成人継続看護学に関連する国内外の文献をクリティークする力を養い、自己の研究課題と研究デザインを考える。

#### 到達目標

- (1) 国内外の文献をクリティークして、成人継続看護の課題について理解できる。
- (2) 健康障害を有する人々への看護技術について理解できる。
- (3) 自己の研究課題と研究デザインを考えることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標(1) 15% 到達目標(2) 15% 到達目標(3) 20%
上記以外	50%	到達目標(1) 15% 到達目標(2) 15% 到達目標(3) 20%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に紹介

#### 前提学力等

成人継続看護学特論を履修している。

#### 履修資格

講義名	成人継続看護学演習							担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美
講義コード	1852040	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT531								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	健康障害を有する成人期にある人々への看護に関連する理論、関係法規、課題について探求する。
第2回	文献クリティーク	第2回～第11回は、文献のクリティークを行い、健康障害を有する成人期にある人々への支援のあり方について探求する。
第3回	文献クリティーク	
第4回	文献クリティーク	
第5回	文献クリティーク	
第6回	文献クリティーク	
第7回	文献クリティーク	
第8回	文献クリティーク	
第9回	文献クリティーク	
第10回	文献クリティーク	
第11回	文献クリティーク	
第12回	研究方法	文献クリティークをとおして、自己研究課題を明確化し、研究デザインを考える。
第13回	研究方法	研究デザイン、研究目的に応じた研究方法を考える。
第14回	研究方法	自己の研究課題に応じた研究方法（質問紙の作成・インタビュー演習）を考え、研究計画書を作成する。
第15回	研究方法	研究計画書を発表する。

担当者から一言

講義名	成人継続看護学特論							担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美
講義コード	1852050	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT530								

#### 授業概要

成人継続看護に有用な概念・理論・看護モデルについて学び、事例分析をとおして健康障害を有する人々への継続看護について探求する。

#### 到達目標

- (1) 成人期の特徴が理解できる。
- (2) 成人継続看護に有用な概念・理論・看護モデルについて理解できる。
- (3) 対象の状況に応じた理論を活用して看護現象を分析し、継続看護について考えることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標(1) 15% 到達目標(2) 15% 到達目標(3) 20%
上記以外	50%	到達目標(1) 15% 到達目標(2) 15% 到達目標(3) 20%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	成人継続看護学特論							担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美
講義コード	1852050	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT530								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	成人期にある人の特徴	第1回・第2回は、発達理論を用いて、成人期にある人の特徴を探究する。
第2回	成人期にある人の特徴	
第3回	成人期にある人の特徴	第3回・第4回は、成人を取り巻く保健・医療・福祉の動向を知り、成人期にある人の生活と健康を守るシステム、看護師の役割と責任を探究する。
第4回	成人期にある人の特徴	
第5回	成人継続看護	第5回・第6回は、危機にある成人期の人への看護を探究する。
第6回	成人継続看護	
第7回	成人継続看護	第7回・第8回は、障害受容や、障害のある成人期の人への看護を探究する。
第8回	成人継続看護	
第9回	成人継続看護	第9回・第10回は、病いとともに生きる成人期の人への看護を探究する。
第10回	成人継続看護	
第11回	成人継続看護	第11回・第12回は、人生最期の時を迎える成人期の人への看護を探究する。
第12回	成人継続看護	
第13回	事例分析	第13回・第14回は、各自で事例を作成して、理論や概念を用いて分析する。
第14回	事例分析	
第15回	事例分析	理論を活用して看護現象を分析（事例分析）して、成人期にある人々への継続看護について探究する。
担当者から一言		

講義名	母性看護学演習							担当教員	越山 雅文
講義コード	1852080	単位数	2	開講期	後期	授業種別	実験		
ナンバリング番号	581MNT527								

#### 授業概要

女性の健康支援に関する国内外の関連論文を購読し、研究方法を探究するとともに、実践への適用を検討する。

#### 到達目標

1. 女性のライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツに関連した先行研究をcritiqueし、女性の健康維持・増進をもたらす看護援助を深く考察できる。
2. 周産期母子看護に関する国内外の文献を講読し、周産期ケアの研究と実践の動向および今後の課題が把握できる。
3. 学習を通じて習得した知識と方法で、母性看護に活用できる看護支援モデルが検討できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す1) 2) 3) については、課題発表・課題レポートで、1) 30%, 2) 30%, 3) 40%で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	母性看護学特論							担当教員	越山 雅文
講義コード	1852090	単位数	2	開講期	後期	授業種別	実験		
ナンバリング番号	581MNT526								

#### 授業概要

女性の健康支援に用いられる諸理論や諸概念を理解し、リプロダクティブヘルス/ライツに関する今日的課題を追求すると共に、ライフステージからみた女性の健康問題や周産期母子及び家族の看護ニーズへの看護援助方法を探究する。

#### 到達目標

1. 系統的文献検索を基に、女性の健康、リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要な理論および概念が理解できる。
2. 女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因が説明できる。
3. 女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割が考察できる。
4. 女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論が理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	1. 系統的文献検索を基に、女性の健康、リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要な理論および概念が理解できる。25% 2. 女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因が説明できる。15% 3. 女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割が考察できる。30% 4. 女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究
上記以外	70	1. 系統的文献検索を基に、女性の健康、リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要な理論および概念が理解できる。25% 2. 女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因が説明できる。15% 3. 女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割が考察できる。30% 4. 女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	母性看護学特論							担当教員	越山 雅文
講義コード	1852090	単位数	2	開講期	後期	授業種別	実験		
ナンバリング番号	581MNT526								

授業計画									
回数	タイトル				概要				
第1回	1 リプロダクティブヘルス/ライツと母性看護1				系統的文献検索を基に、女性の健康、リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要な理論および概念を学習する				
第2回	1 リプロダクティブヘルス/ライツと母性看護2				系統的文献検索を基に、女性の健康、リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要な理論および概念を学習する				
第3回	3 母性看護学分野における研究1				女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因を検討する				
第4回	3 母性看護学分野における研究2				女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因を検討する				
第5回	3 母性看護学分野における研究3				女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因を検討する				
第6回	6 女性の健康・周産期看護に関する研究手法 1				女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論を学習する				
第7回	6 女性の健康・周産期看護に関する研究手法 2				女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論を学習する				
第8回	6 女性の健康・周産期看護に関する研究手法 3				女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論を学習する				
第9回	6 女性の健康・周産期看護に関する研究手法 4				女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論を学習する				
第10回	6 女性の健康・周産期看護に関する研究手法 5				女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論を学習する				
第11回	11 女性の健康と看護 1				女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論を学習する				
第12回	11 女性の健康と看護 2				女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論を学習する				
第13回	11 女性の健康と看護 3				女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割を学習する				
第14回	11 女性の健康と看護 4				女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割を学習する				
第15回	11 女性の健康と看護 5				女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割を学習する				
担当者から一言									

講義名	老年健康生活特論/							担当教員	平田 弘美 / 未定 *
講義コード	1852120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT534								

#### 授業概要

様々な健康問題を持つ高齢者とその家族の機能、および施設（医療施設を含む）におけるケアの現状を文献や実態から分析し、老年看護学に関する研究を実践するために必要な理論・知識を探究する。

#### 到達目標

- (1) 高齢者看護や家族看護に関する看護理論について理解を深める。
- (2) 老年看護学に関する興味ある研究論文のクリティークができる。
- (3) 興味ある研究論の内容を理解しまとめ、それをプレゼンテーションすることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	関心のある研究論文についてのレポート30%
上記以外	70%	ディスカッション40%、プレゼンテーション30%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	老年看護学特論							担当教員	平田 弘美
講義コード	1852125	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

#### 授業概要

様々な健康問題を持つ高齢者とその家族の機能、および施設（医療施設を含む）におけるケアの現状を文献や実態から分析し、老年看護学に関する研究を実践するために必要な理論・知識を探究する。

#### 到達目標

- (1) 高齢者看護や家族看護に関する看護理論について理解を深める。
- (2) 老年看護学に関する興味ある研究論文のクリティークができる。
- (3) 興味ある研究論の内容を理解しまとめ、それをプレゼンテーションすることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	関心のある研究論文についてのレポート30%
上記以外	70%	ディスカッション40%、プレゼンテーション30%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	老年看護学演習							担当教員	平田 弘美
講義コード	1852135	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

#### 授業概要

様々な場で生活する認知症および身体障がいをもつ高齢者に関する諸外国で行われた研究について文献クリティークする。

#### 到達目標

1. 高齢者に関する外国の文献を理解し、クリティークすることができる。
2. 自分の意見を理論的にまとめ、レポートを作成することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	レポート50%
上記以外	50	文献クリティーク20% ディスカッション30%

到達目標1 (文献クリティーク20%、ディスカッション30%)  
到達目標2 (レポート50%)

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	慢性看護学課題研究(1年次)							担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*
講義コード	1853010	単位数	2	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	681CNS601								

#### 授業概要

慢性病とともに生活している人々への看護実践活動の分析と評価、効果的な看護展開方法や支援システムの構築等に関する課題をみつけ、研究をすすめる。また、専門看護師が自ら専門機能発揮の基盤を作り出す取り組みにおいて必要となる能力を育成する。

#### 到達目標

- (1) 慢性看護学領域における看護の課題と研究対象とすべき課題等について、基本的文献や先行研究を検討する。
- (2) 個人の希望する研究課題研究しようとする課題に関する文献検討や実習において習得したことから議論などを通して探求すべき研究課題を明確にする。
- (3) 研究デザインや方法を吟味し、研究計画書を作成する。
- (4) 倫理審査を受ける。
- (5) 計画した研究を遂行する。
- (6) 研究成果をもとに論文を執筆する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	課題研究論文

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	慢性看護学課題研究（1年次）						担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*	
講義コード	1853010	単位数	2	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	681CNS601								

授業計画							
------	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル					概要
第1回	修士論文作成の手引き	参照				修士論文作成の手引きに準じて、課題研究をすすめる。

担当者から一言

進行過程では、計画的に学生への個別指導を行い、必要に応じて生涯健康看護学成人看護学領域内の小集団指導を行う。指導教員は生涯健康看護学成人看護学領域内の複数の教員により、主指導・副指導教員を選定して指導にあたる。

講義名	慢性看護学課題研究(2年次)							担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*
講義コード	1853015	単位数	2	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	681CNS601								

#### 授業概要

慢性病とともに生活している人々への看護実践活動の分析と評価、効果的な看護展開方法や支援システムの構築等に関する課題をみつけ、研究をすすめる。また、専門看護師が自ら専門機能発揮の基盤を作り出す取り組みにおいて必要となる能力を育成する。

#### 到達目標

- (1) 慢性看護学領域における看護の課題と研究対象とすべき課題等について、基本的文献や先行研究を検討する。
- (2) 個人の希望する研究課題研究しようとする課題に関する文献検討や実習において習得したことから議論などを通して探求すべき研究課題を明確にする。
- (3) 研究デザインや方法を吟味し、研究計画書を作成する。
- (4) 倫理審査を受ける。
- (5) 計画した研究を遂行する。
- (6) 研究成果をもとに論文を執筆する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	課題研究論文

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	慢性看護学課題研究（2年次）						担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*	
講義コード	1853015	単位数	2	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	681CNS601								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	修士論文作成の手引き 参照	修士論文作成の手引きに準じて、課題研究をすすめる。

担当者から一言

進行過程では、計画的に学生への個別指導を行い、必要に応じて生涯健康看護学成人看護学領域内の小集団指導を行う。指導教員は生涯健康看護学成人看護学領域内の複数の教員により、主指導・副指導教員を選定して指導にあたる。

講義名	慢性看護学実習							担当教員	横井 和美 / 喜多下 真里
講義コード	1853020	単位数	2	開講期	後期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	581CNS508								

#### 授業概要

慢性病をもつ人々との関わりを通し慢性病者の体験世界に理解を深め、慢性病者が求める看護ケアを提供するために、臨床で行われている高度で専門的な看護実践について臨地で学習する。また、専門看護師としてのコーディネーションやコンサルテーション、倫理調整等の実際を学習し、慢性疾患看護専門看護師の役割と機能について理解を深め、専門的な看護実践能力を養う。

#### 到達目標

- (1) 慢性病をもつ人々とその身近にいる人々(家族・地域)が長期にわたる療養生活においてどのような体験をし、どのような思いを抱いているのかを捉え、長期にわたる看護援助のあり方を学ぶ。
- (2) 慢性看護領域における倫理的課題に対する課題と対応技術を習得する。
- (3) 慢性看護領域における専門的看護活動をしている施設において、専門看護師の具体的な看護実践内容(主にコーディネーションやコンサルテーション、倫理調整等)を学び、その看護実践内容を基盤に自ら展開していけるための看護実践能力を見出す。
- (4) 慢性病をもつ人々の包括的なアセスメントおよび症状マネジメントに関わる専門的な知識および技術を学修する。
- (5) 当該実習で深めた内容を踏まえ、計画的・探求的・意図的に行った実践についてまとめ、実習報告書を作成する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習記録や実習参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	慢性看護学実習							担当教員	横井 和美 / 喜多下 真里
講義コード	1853030	単位数	4	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	681CNS602								

#### 授業概要

慢性看護学実習 で習得した実践技術を活かし、専門看護師としての役割獲得ができるようスーパーバイザーの指導を受けながら、学生の関心領域である慢性病の予防、健康増進および生活調整において、自らが高度な看護実践能力を統合して発揮できるような実習計画を立案し実施することで、専門看護師に必要な実践能力（実践・教育・相談・調整・研究・倫理調整）を高める。

#### 到達目標

- (1) 慢性疾患の予防、健康増進および生活調整に関する高度な看護知識・技術を使って、個人・家族・集団を対象に看護を実践する。
- (2) 看護職者に対して、看護ケアの向上を支えるための教育的機能を果たす。
- (3) 看護職者を含むケア提供者に係わるコンサルテーション（相談）を実践する。
- (4) 慢性疾患の予防、健康増進および生活調整に関する高度な看護知識・技術を使って、多専門職におけるケアの調整（コーディネーション）を実践する。
- (5) 慢性病者の看護を行う上での倫理的問題・葛藤について関係者間での倫理調整を実践する。
- (6) 看護職者が実践の改革者としてどのように機能していくか、また総合的に組織や人に働きかけていくか実習を通して学び、慢性疾患看護専門看護師の機能や役割について探求する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習記録、実習参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

慢性看護学実習 を履修していることが望ましい。

#### 履修資格





講義名	慢性看護学特論 A							担当教員	横井 和美 / 糸島 陽子
講義コード	1853040	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581CNS501								

#### 授業概要

慢性病者やその家族の行動や心理的特徴の理解を深める代表的な理論の内容を講義し、事例検討を通して対象者理解を深めるための理論活用方法の視点を培う。

#### 到達目標

- 1) 慢性病者やその家族の行動や心理的特徴の理論を深める代表的な理論の内容について説明できる。
- 2) 対象者の理解を深めるための理論活用方法を身に着ける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッションの準備および参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	クロニックイリネス 人と病いの新たななかかわり	アイリーン・モロフ・ラブキン、 パメラ D.ラーセン著	医学書院	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウス による看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	
2	慢性疾患を生きる	南 裕子 訳	医学書院	
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	慢性看護学特論 B							担当教員	横井 和美 / 糸島 陽子 / 角野 文彦
講義コード	1853050	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581CNS502								

#### 授業概要

慢性病者の医療・福祉制度や体制をヘルスプロモーションの変遷の視点でとらえ、慢性病者が生活している様々な現場に実施されている医療・福祉制度と支援状況を紹介します。今後の医療・福祉制度の変遷を見極め、新たな制度や体制づくりへの想起に役立てる。

#### 到達目標

- 1) 健康に対する考え方の変移から慢性病をもつ人に適用されてきた医療・福祉の制度や体制を説明できる。
- 2) 医療福祉制度および体制をヘルスプロモーションの変遷の視点で説明できる。
- 3) 慢性病者に対するヘルスプロモーションについて、今後の課題や新たな医療・福祉制度を検討できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	慢性看護支援論 A							担当教員	横井 和美 / 糸島 陽子
講義コード	1853060	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581CNS503								

#### 授業概要

慢性病者を支援するための諸理論やモデルを講義にて紹介し、支援技術が示された事例や文献レビューを行い、事例の情報を基に理論やモデルから導き出される支援方法を検討する。最終的には学生の関心領域である慢性病者の特徴を支援する方法や評価方法を検討する。

#### 到達目標

- (1) 看護に活用される中範囲理論について説明できる。
- (2) 看護現象を看護理論を用いて説明できる。
- (3) 看護問題を解決するための看護治療技術について理論を用いて説明できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	慢性看護支援論 B							担当教員	横井 和美 / 糸島 陽子
講義コード	1853070	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581CNS504								

#### 授業概要

慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術について理論を講義にて学び、各病期における主な支援技術方法の習得とその評価方法についてもデータを用いて検討する。

#### 到達目標

- (1) 慢性病の様々な変化する時期に対応した情緒的支援および症状マネジメントのための支援技術の修得と評価方法を理解する。  
(2) 慢性病者に対する看護援助のあり方と評価に対する文献レビューができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	慢性看護支援論B							担当教員	横井 和美 / 糸島 陽子
講義コード	1853070	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581CNS504								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	慢性病者の発症期における支援と評価	慢性病者に対するナラティブアプローチとエンパワメント
第2回	慢性病者の発症期における支援と評価	慢性病者に対するナラティブアプローチの実際
第3回	慢性病者の発症期における支援と評価	インタビュー技法の実際と分析の視点
第4回	慢性病者の安定期、維持期に対する支援と評価	慢性病者の症状マネジメントの視点 リラクゼーション法の理論
第5回	慢性病者の安定期、維持期に対する支援と評価	慢性病者の症状マネジメントの視点 リラクゼーション法の実際
第6回	慢性病者の安定期、維持期に対する支援と評価	慢性病者の症状マネジメントのための工夫（代替補完療法 国内外の動向）
第7回	慢性病者の安定期、維持期に対する支援と評価	慢性病者の症状マネジメントの実際と評価 代替補完療法の各種技法
第8回	慢性病者の安定期、維持期に対する支援と評価	慢性病者の症状マネジメントの実際と評価 代替補完療法の各種技法
第9回	慢性病者の安定期、維持期に対する支援と評価	患者会への支援と課題 ピア・カウンセリングの方法と看護師の役割
第10回	慢性病者の急性増悪、進行、終末期における必要な支援とその評価	慢性病者の療養生活における感染予防と感染管理
第11回	慢性病者の急性増悪、進行、終末期における必要な支援とその評価	慢性病者の緊急時の対応と連携の在り方
第12回	慢性病者の急性増悪、進行、終末期における必要な支援とその評価	エンドステージとケアの実際・・・疼痛コントロールの実際
第13回	慢性病者の急性増悪、進行、終末期における必要な支援とその評価	終末期における家族支援の実際と評価
第14回	慢性病者の急性増悪、進行、終末期における必要な支援とその評価	急性増悪、進行、終末期の看護師の役割とコーディネーション
第15回	慢性病者に対する看護援助のあり方と評価	課題研究に関係する慢性病者の看護援助に関する国内外での研究レビュー

担当者から一言

--



講義名	慢性看護支援論 C							担当教員	横井 和美 / 糸島 陽子 / 伊波 早苗
講義コード	1853080	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581CNS505								

#### 授業概要

慢性病者の主な治療における療養生活での専門的支援内容を講義にて理解し、治療生活環境のコーディネートや連携の在り方を追求する。専門看護師として慢性病者の治療環境整備における他職種とのチーム連携に必要なコーディネーションやチームメンバーに対するコンサルテーションについて方法を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 慢性病者の質の高い生活に向けての治療環境について検討できる。
- (2) 慢性病を支援する継続看護に必要な調整内容について説明できる。
- (3) 治療環境・支援チームの連携のグループダイナミクスについて説明できる。
- (4) 慢性病者を支援するチーム連携と継続看護の方向性について検討できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	慢性看護支援論C							担当教員	横井 和美 / 糸島 陽子 / 伊波 早苗
講義コード	1853080	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581CNS505								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	慢性病者の質の高い生活に向けての治療環境の整備	一次・二次予防における治療環境整備や地域支援の現状と課題、生活習慣病予防の取り組みを中心に検討
第2回	慢性病者の質の高い生活に向けての治療環境の整備	一次・二次予防における治療環境整備や地域支援の現状と課題、生活習慣病予防の取り組みを中心に検討
第3回	慢性病者の質の高い生活に向けての治療環境の整備	二次・三次予防における治療環境整備や地域支援の現状と課題、慢性病者の在宅における薬物管理支援
第4回	慢性病者の質の高い生活に向けての治療環境の整備	二次・三次予防における治療環境整備や地域支援の現状と課題、慢性病者の在宅における薬物管理支援
第5回	慢性病者の質の高い生活に向けての治療環境の整備	治療環境整備に必要なサポートシステムへの方策、地域ネットワークの現状把握とケアマネジメント(リサーチとプレゼンテーション)
第6回	慢性病者を支援する継続看護に必要な調整内容	慢性病者の継続看護 地域・外来・病棟の連携システム
第7回	慢性病者を支援する継続看護に必要な調整内容	医療施設におけるクリティカルパスと退院調整
第8回	慢性病者を支援する継続看護に必要な調整内容	在宅療養生活における専門看護師のコーディネーションの実際
第9回	慢性病者を支援する継続看護に必要な調整内容	専門看護師による退院調整の利点と課題
第10回	慢性病者を支援する継続看護に必要な調整内容	療養生活と専門職サポートの展望ー地域連携パスの運営と評価の実際
第11回	慢性病者を支援する継続看護に必要な調整内容	治療を受けながら労働する人の支援連携の現状と課題
第12回	慢性病者を支援する継続看護に必要な調整内容	慢性病者の家族支援・地域社会支援のための現状把握と展望
第13回	治療環境・支援チームの連携のグループ・ダイナミックス	1) 援助者のためのグループ理論 2) チーム連携のリーダーの役割
第14回	治療環境・支援チームの連携のグループ・ダイナミックス	1) 援助者のためのグループ理論 2) チーム連携のリーダーの役割
第15回	慢性病者を支援するチーム連携と継続看護の方向性	学生の関心のある地域・慢性病者に対するチーム連携支援システムの立案
担当者から一言		

講義名	慢性看護支援論演習							担当教員	横井 和美 / 喜多下 真里
講義コード	1853100	単位数	2	開講期	通年	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581CNS506								

#### 授業概要

フィジカルイグザミネーションの技術習得および検査の見方など身体的アセスメントに必要な知識・技術の修得を基盤に、対象者の心理社会的な側面のアセスメントの視点を学び、さまざまな事例を通して包括的なアセスメントできる能力を身に付ける。

#### 到達目標

- (1) 慢性病者の複雑な状態を理解するためのフィジカルアセスメントの知識と技術を習得する。
- (2) 慢性病者の各発達段階における心理・社会的特徴からのアセスメントの視点を学ぶ。
- (3) さまざまな慢性病者の事例の身体・心理・社会面等からのアセスメントの視点や方法を学び、包括的なアセスメント能力を高める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	事例展開の準備、参加状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	慢性看護支援論演習							担当教員	横井 和美 / 喜多下 真里
講義コード	1853100	単位数	2	開講期	通年	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581CNS506								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	慢性病者に必要なフィジカルアセスメント	慢性病者に必要なフィジカルアセスメントの目的と基本的技法（問診、視診）
第2回	フィジカルアセスメントの基本技法	触診：循環、腹部・胸部（聴診、打診も含む）
第3回	フィジカルアセスメントの基本技法	打診：神経反射等
第4回	フィジカルアセスメントの基本技法	打診：神経反射等
第5回	フィジカルアセスメントの基本技法	聴診：胸部、心臓等
第6回	フィジカルアセスメントの基本技法	聴診：胸部、心臓等
第7回	フィジカルアセスメント	心電図のアセスメント
第8回	フィジカルアセスメント	心電図のアセスメント
第9回	フィジカルアセスメント	心電図のアセスメント
第10回	慢性病に必要な臨床検査データの見方	主な慢性疾患の検査データのアセスメント
第11回	慢性病に必要な臨床検査データの見方	主な慢性疾患の検査データのアセスメント
第12回	慢性病者のライフステージに沿った発達課題からの包括的アセスメント	小児期・思春期における慢性病者の身体的・心理社会的なアセスメントの方法
第13回	慢性病者のライフステージに沿った発達課題からの包括的アセスメント	成人期における慢性病者の身体的・心理社会的なアセスメントの方法
第14回	慢性病者のライフステージに沿った発達課題からの包括的アセスメント	成人期における慢性病者の身体的・心理社会的なアセスメントの方法
第15回	慢性病者のライフステージに沿った発達課題からの包括的アセスメント	老年期における慢性病者の身体的・心理社会的なアセスメントの方法
第16回	障害に対する国際生活機能分類を使った包括的アセスメントの視点	1) 国際生活機能分類（心身機能、身体構造）からのアセスメントの視点、 2) 国際生活機能分類（活動と参加、環境因子）からのアセスメントの視点
第17回	障害に対する国際生活機能分類を使った包括的アセスメントの視点	1) 国際生活機能分類（心身機能、身体構造）からのアセスメントの視点、 2) 国際生活機能分類（活動と参加、環境因子）からのアセスメントの視点
第18回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	慢性の呼吸機能障害における病態生理学的特性（慢性呼吸不全）
第19回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	慢性の呼吸機能障害の治療状況からの心理・社会的アセスメント
第20回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	生活における身体可動性についてのアセスメント 呼吸機能障害者の家族・地域アセスメント
第21回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	包括的リハビリテーションへの支援のためのアセスメントの一例 事例におけるアセスメントの焦点とアプローチ法
第22回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	包括的リハビリテーションへの支援のためのアセスメントの一例 事例におけるアセスメントの焦点とアプローチ法
第23回	慢性の排泄機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	慢性の排泄機能障害における病態生理学的特性（人工肛門造設者）
第24回	慢性の排泄機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	慢性の排泄機能障害の治療状況からの心理・社会的および家族アセスメント
第25回	慢性の排泄機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	ストーマケアのためのアセスメントの視点、 4) 障害の受容やボディイメージに対するアセスメント
第26回	慢性の排泄機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	事例におけるアセスメントの焦点とアプローチ法
第27回	慢性の代謝機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	糖尿病患者の病態生理学的特性
第28回	慢性の代謝機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	薬物血糖コントロールにおける心理・社会的アセスメント
第29回	慢性の代謝機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	糖尿病教育学習上でのアセスメント（家族アセスメントを含む）
第30回	慢性の代謝機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	事例におけるアセスメントの焦点とアプローチ法
担当者から一言		

講義名	組織行動マネジメント論特論/							担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

#### 授業概要

医療福祉組織において中心的役割を果たす看護職の人材確保・育成・人的活用について概説する。そのうえで、人を活かし組織力を高めるための組織行動の考え方を探求する。

#### 到達目標

- 1) 医療組織における看護組織と人的資源活用の必要性を関係づける。
- 2) 組織行動の意味を考え、「ひとを動かす」ための視点が説明できる。
- 3) 自己の研究課題を説明できる。
- 4) 課題に対するプレゼンテーションを準備し、実施する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標1)3)についてレポート課題を課す
上記以外	50%	到達目標1)2)3)討論への参加状況 到達目標4)プレゼンテーションについて評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	組織行動の考え方	金井壽宏・高橋潔	東洋経済	
2				
3				

#### 【参考書】

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	組織行動マネジメント論演習/							担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853120	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

#### 授業概要

看護職のキャリア支援と人材活用のマネジメント、自己およびスタッフのストレスマネジメントについて考究する。また、看護職の継続教育と人材育成/活用に関する先行研究を批判的検討する力を養い、自己の研究課題を明確にする。

#### 到達目標

- 1) 看護職の継続教育と効率的な人材活用について説明する。
- 2) 先行研究の批判的検討ができる。
- 3) 自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成する。
- 4) 課題に対するプレゼンテーションを準備し、実施する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標1)3)について課題を課す
上記以外	40%	到達目標4)について評価する 到達目標1)~3)のディスカッションへの参加状況を評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

人的資源活用論特論を履修していること

#### 履修資格





講義名	公衆衛生看護学特論							担当教員	小林 孝子
講義コード	1853130	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT524								

#### 授業概要

公衆衛生看護の発展の歴史から、概念や活動の理論的根拠を理解し、地域ヘルスケアの質の向上に寄与できる視点を確立する。さらに地域の人びとの健康ニーズの把握・アセスメント・看護活動の計画・実施・評価の過程が理解でき、住民と協働する公衆衛生看護活動のあり方を主体的に学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 公衆衛生看護実践に用いられる概念や方法論を説明することができる。
- (2) 保健師の能力形成について、自分の考えを述べることができる。
- (3) 地域診断の必要性と方法を説明することができる。
- (4) 健康課題となる現象を明確化し、課題の解決に向けた方法論を論述できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	(4) レポート20%
上記以外	80	(1)(2)(3)(4) プレゼンテーション10%、ディスカッション10%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	保健師 地域の健康をつむぐそのはたらきと能力形成	高尾茂子	ふくろう出版	
2	地域看護診断 第2版	金川克子・田高悦子	東京大学出版会	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	公衆衛生看護学特論							担当教員	小林 孝子
講義コード	1853130	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT524								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	公衆衛生看護と関連する概念	
第2回	保健師活動と能力形成	
第3回	保健師活動と能力形成	
第4回	保健師活動と能力形成	
第5回	コミュニティ・オーガニゼーション	
第6回	事業化・施策化	
第7回	Primary Health Care の理念と実践	
第8回	Health Promotionの理念と実践	
第9回	地域診断	
第10回	地域診断	
第11回	地域診断	
第12回	健康課題	現象の記述と課題の明確化
第13回	健康課題	現象の記述と課題の明確化
第14回	健康課題	関連する国内文献のクリティーク
第15回	健康課題	関連する国内文献のクリティーク

担当者から一言

講義名	公衆衛生看護学演習							担当教員	小林 孝子
講義コード	1853140	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT525								

#### 授業概要

公衆衛生看護活動の歴史と変遷をふまえた諸理論について検討し、知識を深める。人びとの潜在化した健康課題を顕在化し、個別支援からグループ支援、地域での健康活動へと推進する高度な専門的能力を養成する。また、基礎となる考察力を高めるために文献講読を行う。国内外の活動事例を検証する過程で、その活動の有効性や課題について考察し、研究活動を行う上での資料とする。

#### 到達目標

- (1) 地域の人々の潜在化している健康課題と関連する概念を説明できる。
- (2) 健康課題と解決に向けた方法論を説明できる。
- (3) 健康課題に関連する論文のクリティークができる。
- (4) 文献講読をもとに、課題解決にむけた方法の有効性を説明できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	(4) レポート20%
上記以外	80	(1) プレゼンテーション10%、ディスカッション5% (2) プレゼンテーション10%、ディスカッション5% (3) プレゼンテーション20%、ディスカッション10%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実践 ヘルスプロモーション PRECEDE-PROCEED モデルによる企画と評価	ローレンス W. グリーン	医学書院	
2	コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際	エリザベス T. アンダーソン	医学書院	
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	人的資源活用論特論							担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853180	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT516								

#### 授業概要

医療福祉組織において中心的役割を果たす看護職の人材確保・育成・人的活用について概説する。そのうえで、人を活かし組織力を高めるための組織行動の考え方を探求する。

#### 到達目標

- 1) 医療組織における看護組織と人的資源活用の必要性を関係づける。
- 2) 組織行動の意味を考え、「ひとを動かす」ための視点が説明できる。
- 3) 自己の研究課題を説明できる。
- 4) 課題に対するプレゼンテーションを準備し、実施する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標1)3)についてレポート課題を課す
上記以外	50%	到達目標1)2)3)討論への参加状況 到達目標4)プレゼンテーションについて評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	組織行動の考え方	金井壽宏・高橋潔	東洋経済	
2				
3				

#### 【参考書】

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	人的資源活用論演習							担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853190	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT517								

#### 授業概要

看護職のキャリア支援と人材活用のマネジメント、自己およびスタッフのストレスマネジメントについて考究する。また、看護職の継続教育と人材育成/活用に関する先行研究を批判的検討する力を養い、自己の研究課題を明確にする。

#### 到達目標

- 1) 看護職の継続教育と効率的な人材活用について説明する。
- 2) 先行研究の批判的検討ができる。
- 3) 自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成する。
- 4) 課題に対するプレゼンテーションを準備し、実施する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標1)3)について課題を課す
上記以外	40%	到達目標4)について評価する 到達目標1)~3)のディスカッションへの参加状況を評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

人的資源活用論特論を履修していること

#### 履修資格





講義名	在宅看護学特論							担当教員	河野 益美
講義コード	1853200	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	581MNT522								

#### 授業概要

在宅療養者とその家族の健康上の問題に対して提供される看護の現状と課題を探究し、生活の場に応じた看護課題の解決にむけた方策について考察する能力を培う。

#### 到達目標

1. 在宅で提供されている在宅ケア（医療・看護・保健・福祉等）の現状と課題を明らかにできる。
2. 在宅ケアシステム、多職種連携における訪問看護師の役割を明らかにし、生活の場で実践される連携のあり方について考察できる。
3. 在宅看護におけるアセスメントの理論・モデルの適応について理解できる。
4. 在宅療養者およびその家族の生活と健康課題解決に向けた方法論が説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	レポート課題70%
上記以外	30	平常考査（授業への参加姿勢）30%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

なし。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考文献は適宜提示する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	在宅看護学演習							担当教員	河野 益美
講義コード	1853210	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT523								

#### 授業概要

学生が実践してきた事例や国内外の文献抄読、フィールドワークを通して、在宅療養者およびその家族の生活環境を考慮した在宅生活を支援する看護技術の展開ができる能力を培う。

#### 到達目標

1. 文献検討を通して、研究課題を明確にできる。
2. 事例検討を通して、在宅療養者の自立支援、QOLの維持・向上に向けた看護実践のあり方を考察できる。
3. 在宅療養者とその家族の健康課題解決に向けた看護実践のあり方を考察し、提言できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	レポート課題30%
上記以外	70	プレゼンテーション40%、ディスカッション30%

分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト なし

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要時適時提示する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	在宅看護学演習						担当教員	河野 益美	
講義コード	1853210	単位数	2	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	581MNT523								

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	この授業科目の目的、今後の進め方等についてのオリエンテーションを行う。
第2回	文献抄読	在宅看護に関する関心領域の論文クリティークを行う/ディスカッション
第3回	文献抄読	在宅看護に関する関心領域の論文クリティークを行う/ディスカッション
第4回	文献抄読	在宅看護に関する関心領域の論文クリティークを行う/ディスカッション
第5回	文献抄読	在宅看護に関する関心領域の論文クリティークを行う/ディスカッション
第6回	文献抄読	在宅看護に関する関心領域の論文クリティークを行う/ディスカッション
第7回	フィールドワーク計画立案	
第8回	フィールドワーク計画立案	
第9回	フィールドワーク	
第10回	フィールドワーク	
第11回	フィールドワーク	
第12回	フィールドワーク	
第13回	フィールドワークにおける事例検討	プレゼンテーション、ディスカッション
第14回	フィールドワークにおける事例検討	プレゼンテーション、ディスカッション
第15回	フィールドワークにおける事例検討	プレゼンテーション、ディスカッション
<b>担当者から一言</b>		
学生の主体的な取り組みを期待します。		